活用の検討経過

学校名		旧　　塩尻市立楢川　　中　学校
廃校年月		令和　4　年　3　月
検討開始の背景	検討の開始時期	令和　5　年　12　月
	検討開始の契機	☑ 政策方針　☐ 地域要望　☐ 財政負担軽減 ☐ その他　（　　）
	廃校時点の課題	☑ 管理コスト　☑ 老朽化　☑ 防犯 ☐ その他　（　　）
検討体制	検討主体	☑ 庁内　☐ 外部検討会　☐ 民間委託
	庁内部署の関与	☑ 総務・財政・管財　☑ 企画　☑ 商工・観光 ☐ 健康・福祉　☑ 教育・文化　☐ 公民連携 ☑ その他　（　農林　）
	外部専門家等	☐ 有り　☑ 無し
検討プロセス	検討期間 （開始～決定）	約　3　年
	検討した活用案	民間提案公募による、地域産業の振興、雇用創出、地域活性化又は地域住民の生活の向上につながる幅広い提案を募集した。
	検討の主なステップ	・民間提案公募の実施 ・庁内検討会議、優先交渉権者の決定 ・優先交渉権者との詳細協議 ・優先交渉権者との契約、事業検討
	最終的な活用案に至った理由	地域の森林資源や地域特性を生かし、既存施設を有効活用しながら、地域内外の交流促進、地域活性化及び森林資源の循環利用、雇用の創出など地域活性化につながる効果が期待できるため。
	検討過程での課題や苦労した点	建物の老朽化への対応、改修費用及び維持管理方法の検討、継続的な運営体制の構築が主な課題であった。また、地域の意向、公共性及び事業性のバランスを図りながら、関係者間の合意形成への対応を進める必要があった。

地域住民等の意見の把握・反映	住民への情報提供	☑ 広報　☑ 説明会　☐ 回覧等 ☐ その他　（　　）
	意見収集の方法	☑ 説明会　☐ ワークショップ　☐ アンケート ☐ その他　（　　）
	参加者の範囲	☑ 地域住民　☐ 卒業生　☑ 関係団体 ☐ その他　（　　）
	主な意見・要望の内容	学校として長年親しまれてきた施設であることから、地域の活性化や交流人口の拡大につながる活用を期待する意見があった。また、地域の自然環境や森林資源、文化などの特色を生かすこと、地域住民も利用できる施設とすること、周辺環境や安全面に配慮することなどの要望が寄せられた。
	意見に対する対応	地域住民への説明や意見交換の機会を設け、事業の目的、施設の活用方針及び整備内容などについて情報共有を行った。寄せられた意見については、施設運営との整合性を確認しながら、可能な範囲で計画や運営方法に反映した。
	合意形成において工夫した点	検討の各段階において、地域住民や関係者に情報を提供し、施設の将来像や期待される効果を分かりやすく共有するよう努めた。
民間活用の展開	民間活用を選択した理由	廃校施設の有効活用に当たり、行政のみでは得にくい民間事業者の専門的な知見、柔軟な発想及び運営ノウハウを取り入れ、施設の立地条件や規模、地域資源を生かした幅広い活用の可能性を検討するため。
	募集方法	☑ 公募（プロポーザル）　☐ 一般競争入札　☐ 随意契約 ☐ その他　（　　）
	条件で重視した点	☑ 契約価格　☑ 活用形態　☑ 事業期間 ☐ その他　（　　）